

社協

K A K A M I G A H A R A

サポート君



support you, support me
ささえて、ささえられて

かかみがはら

No.

141

2010年7月15日号

コスモスの里



お手玉ひとつでよみがえる思い出

毎週木曜日に開催されている、ボランティアハウスおざき「コスモスの里」。
この日はボランティアグループ『各務原お手玉の会』のみなさんと一緒に懐かしいお手玉を楽しみました。
「昔取った杵柄」と言いますが、皆さんたいへんお上手で、喜びの声や笑い声があがり、時を忘れるほど夢中になっていました。



この広報紙には、皆さんの会費と
赤い羽根共同募金が使われています。

ウェブサイト <http://www.kakamigahara-shakyo.jp/>

ささえて ささえられて みんなが主役のまちづくり 平成22年度 社協事業計画・予算

地域福祉活動の推進

- ① 支部社会福祉協議会活動の充実・強化
- ② 支えあいサポーター養成事業
(フォローアップ研修会)
- ③ ボランティアハウスの普及推進 (現在67か所)
(ハウス助成、新規開設支援、貸出物品の整備)
- ④ ファミリーサポートセンター事業の受託
- ⑤ 近隣ケアグループ活動の推進、支援
- ⑥ 福祉教育の推進
(市内全小、中学校、高等学校、各務原養護学校)



障がい者・高齢者等の社会参加

- ① 福祉有償運送事業
- ② 生きがいセンター川島園デイサービス事業
- ③ 車いす・松葉杖の貸出
- ④ 障がい者卓球教室
- ⑤ お達者でクッキング
- ⑥ 高齢者口腔機能向上・栄養改善講座

福祉活動の企画広報

- ① 第44回社会福祉大会 (11月25日)
- ② 第29回福祉フェスティバル (9月12日)
- ③ 広報紙の発行 (年4回)
- ④ ウェブサイトによる情報提供

自立生活の支援

- ① 日常生活自立支援事業
(認知症高齢者や知的・精神障がいの方の福祉サービス利用援助・金銭管理)
- ② 生活福祉資金貸付事業
(総合支援資金、福祉資金(緊急小口資金)などの貸付)

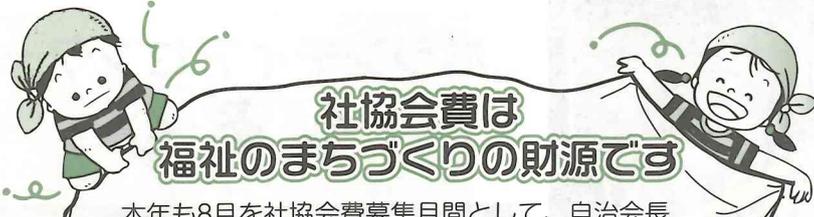
ボランティアセンター事業

- ① ボランティア養成講座
(手話・音訳・要約筆記)
- ② 収集ボランティアサロンの開設
(毎月第3金曜日)
- ③ ボランティア活動の相談・募集
派遣調整、活動保険

介護保険事業等

- ① 地域包括支援センター事業
- ② 居宅介護支援事業
(ケアプラン作成)
- ③ ホームヘルプ事業
- ④ 訪問入浴介護事業
- ⑤ 老人デイサービス事業

紙面の都合により一部抜粋です。詳しくはウェブサイトをご覧ください。



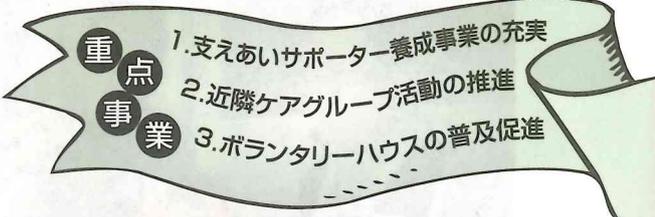
社協会費は福祉のまちづくりの財源です

本年も8月を社協会費募集月間として、自治会長さん、組長・班長さんのご協力により、会員・会費募集をさせていただきます。

市民の皆さまに社協活動を理解していただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、法人・事業所の皆さまへは、民生委員児童委員さんを通じて賛助会費の募集を依頼させていただきます。賛助会費は市全体の地域福祉事業に使われます。なにとぞ、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

写真は、社協鶴沼第二連合支部（安達重忠支部長）で行われた人づくり講演会の様子です。会費はこのような支部社協活動や地域でのボランティアハウス事業の財源に活用されています。



収入の部

	単位:千円
会費収入	22,363
寄付金収入	4,800
経常経費補助金収入	42,145
助成金収入	8,034
受託金収入	41,078
事業収入	3,759
貸付事業等収入	100
共同募金配分金収入	14,856
負担金収入	344
介護保険収入	119,984
自立支援等収入	8,035
補助事業等収入	12,823
雑収入	1
受取利息配当金収入	1,802
経理区分間繰入金収入	44,253
その他	318

見守り声かけの大切さを再確認しました



支部だより 4 那加三支部

平成22年度 総予算 324,695千円

	単位:千円
法人運営事業	105,741
企画広報事業	3,057
地域福祉活動事業	29,221
ボランティアセンター事業	1,691
福祉移送事業	1,809
共同募金配分事業	16,505
日常生活自立支援事業	4,105
生活福祉資金等貸付事業	930
川島園デイサービス事業	4,206
地域包括支援センター事業	24,918
居宅介護支援事業	21,876
ホームヘルプ事業	60,381
訪問入浴介護事業	9,957
老人デイサービス事業	40,298

支出の部

社協那加三支部（喜多川紀支部長）でこのほど、近隣ケアグループ研修会が行われました。この地域には23グループ、148名の方が活動されています。

研修では、20年以上活動されている『新栄町ひまわりの会』の三輪さんから、日頃の活動の報告をしていただきました。近隣ケアグループとしてひとり暮らし高齢者に安否確認をしていましたが、少し遠くに離れた家の方を見守るには限界がありました。そこで、ひとり暮らし高齢者の方に「自分が元気で過ごしている」というサインを発信していただくことにし、ご近所の方にそのサインを普段の生活

近隣ケアグループとは、隣近所での見守りや声かけを行い、必要に応じてできる範囲の助け合いを行うグループです。今までは市が推進し組織されていましたが、今年度から社会福祉協議会が活動費の助成事務や活動支援、研修会を行います。

の中で気にかけてもらうよう班長会議で提案をしたという発表をしていただきました。こうした住民の多くが、さりげなく気にかけていく活動が地域において大事であること、見守りは近隣ケアグループだけがすることでないことを伝えていただきました。

ボランティアセンター たより



子どもたちの喜ぶ顔をうかべて直します

「おかげ様で娘のピアノはきれいな音色が出るようになりました。修理を終えた日は都合がつかず私だけ受け取りに伺いました。あれから娘は『おじちゃんたちにピアノを直してくれてありがとうって言葉なかったネ』と時々言っており、気になっているようなので、このお手紙で『カワセミ』の皆さまに改めて



直ったピアノに思わず笑みが

お礼を言わせて下さい。ありがとうございました。学校の先生のように娘は毎日ピアノを弾いて楽しんでます。素敵な話だなあと、取材をさせていただき、お便りを書かれたのは、田中絹代さん。このピアノはともお気に入りのおもちゃだそう、娘さんの玲菜ちゃんにピアノが直ってどんな気持ちだった？とたずねると、「うれしかった。」と、はにかみながら答えてくれました。おもちゃが取りもった心温まるお話です。

折も折、平成18年のことです。「日本お手玉遊びの会」の全国大会が開催されることを知りました。そこで、地域子ども教室の指導員の中から有志を募り、その大会に出場してみたいのです。その時の感動がきっかけとなり「各務原お手玉の会」を結成する運びになりました。正式に支部認定を受けたのは平成20年です。



大切なおもちゃ!! 慎重にしていねいに

ボランティアグループ紹介

70

各務原お手玉の会



ます。

学校へは「放課後子ども教室」や「伝承遊び」の時間に行つて子どもたちと楽しんでいきます。

老人施設やシニアグループから要請を受けて時にも喜んで出かけます。

私たちは、メディア漬けになりつつある今の子どもたちに危機感を覚え、日本の伝承遊びの一つであるお手玉遊びを何とか伝えていけないものかと考えていました。

「トー番初めは一宮 二は日光東照宮 三は 佐倉のそうごろう」と、懐かしい昔の数え歌を歌いながら、お手玉をゆすると、大声で共に歌つて笑いに満ち、とても生き生きとされます。至福の時間が流れます。



じゅず玉にふれる子どもたち(右は安達会長)

毎月第2土曜に例会を開きさまざまなお手玉遊びを蒐集して技能練習をしています。

ボランティアハウスを立ち上げよう!

社会福祉協議会では、地域福祉活動の重要な事業として『ボランティアハウス』を推進しています。ボランティアハウスとは、地域の高齢者や体の不自由な方、子育て中の方などが気軽に集い、楽しく過ごせる場所と内容を自分たちで作っていく活動で、現在67か所開かれています。

ボランティアハウスのキーワードは「気軽に」「無理なく」「楽しく」「自由に」です。集う皆さんにとって参加しやすく、楽しめるものを話し合いながら内容を決めていく活動です。

今年度より、新たにボラン



おしゃべりや作品づくりも楽しみ
(楠ひまわりの会)



仲間づくりも元気のもと(三井あんずの会)



いろんな活動を取り入れていますね!!
(川協お話ししましょうサロン)

タリーハウスを始める際の支援助成が拡大しました。あなたの地域でも、ボランティアハウスを立ち上げてみませんか。まずお茶のみ会から始めるのも方法の一つです。
社会福祉協議会 (☎058-38317610) までご連絡ください。

ぶくしのお仕事

看護師



野口めぐみさん
1968年生まれ
人が大好き、自然大好き。
根っからのプラス思考人。
休日にはひたすら主葉くん(年長)と遊び、現在魚つりを研究中。

今回は肢体不自由児通園施設で働く看護師さんにインタビューしました。

私の看護観

人間の本来もつ自然治癒力・生きる力・育つ力が最大限に発揮されるよう環境を整える仕事だと考えています。それは物的だったり、心のケアだったり。全ての起こる事に意味があると思っています。「生くるに時があり、死ぬるに時があり、病むにも時がある。」その人がその人らしく人生を生きる事が出来る為に何らかの力になれば、と考えています。

看護とは：
手(目)観(て)護(まも)る

かつて重症心身障がい児・者の入所施設で6年程勤務していた時に思った事を書きま

す。
24時間、直接関わっている私達の一手一手が、もの言えない児・人たちにとって癒しをもたらせるものともなり、ひたすら苦痛を与えるものともなる、という事を思い知らされました。相手の呼吸を感じながら、相手の動きの一部に私の手がいられらたら、そしてもっと知識をもちたい、技術をつけたいと強く思いま

した。
当時の先輩で訓練士兼介護職の男性に「看護師の仕事は何だ?」と言われ「生命(いのち)を護ることだろう」と言われた事があり、その時はしっくりこなかったのですが、今思えばなるほどと思います。尊い仕事をさせて頂いて感謝ですね。

看護師の仕事の魅力

ここでの仕事の魅力は、多くの専門職がそれぞれの視点を用い、一人一人の子どもの生きる力を育むという一つの目標に力を合わせていく事。緊急時の対応、判断、責任は、もちろんプレッシャーですが、チームへの信頼感に支えられ

ているのを感じます。

自分の意志・力で生きよう
育つと輝く子ども達、そして彼らを大きな愛で支えるお母さん達と関われる事は本当に感謝です。

子どもにとって苦痛な吸引にしても、姿勢を整えることひとつにしても、お母さん・相手の呼吸に寄り添う事で、緊張せず「自分を出しているんだ」「僕でいいんだ」と感じ伝えてくれる(表情や、身体の緊張、声などで、伝わってくる瞬間はとても嬉しいです。)(文:野口さん寄稿、編集・写真:土屋直樹)



朝の検温よ。
わたしは今日も
元気いっぱい!!

社協のあしあと

平成21年度 事業報告・決算報告

市民の皆さまからの会費や寄付金、共同募金配分金などで次のような事業を展開しました。



法人運営事業

- 理事会・評議員会の開催
- 会員募集、自主財源の確保
- ・一般会員 36,680世帯
- ・賛助会員 870法人
- 10団体

地域福祉活動事業

- 支部社協活動の充実・強化
- ボランティアハウスの推進 (新規8ヶ所含み67ヶ所)
- 支えあいサポーター養成塾の開催(延べ6日、43名参加)
- ボランティアハウスのつごいの開催(369名参加)
- 市民福祉講座の開催 (516名参加)
- 障がい者卓球教室の開催
- ファミリーサポートセンター事業の受託運営

企画広報事業

- 第43回社会福祉大会の開催 (1,024人参加)
- ・福祉関係功労者の表彰
- ・あき竹城さんの講演
- 地域福祉活動計画
- 「いきいきプランかかみがはら」の策定



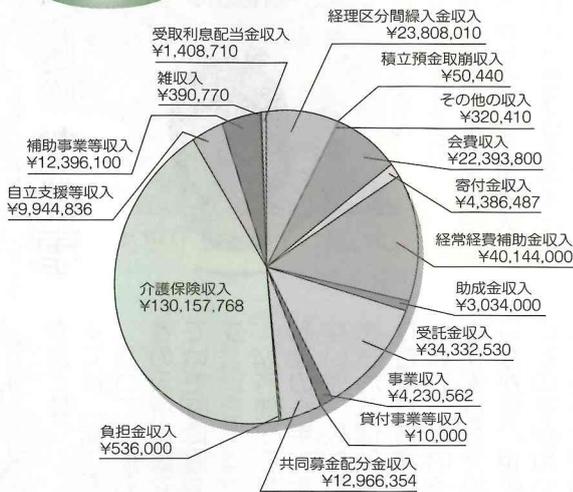
岐阜弁カルタで楽しいひととき (ボランティアハウスおがせ)

- ・登録利用会員165名
- ・サポート会員47名
- ・両方に会員登録7名
- ・コーディネート実績427件
- ・会員交流会の開催 (125名参加)
- ・事業紹介パンフレットの作成
- 口腔ケア向上講座の開催 (延べ8回、11名参加)

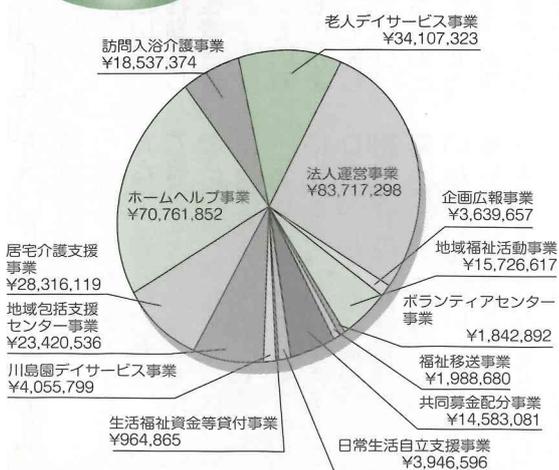
平成21年度 資金収支計算報告書

収入の部 ¥300,510,777

単位:円



支出の部 ¥305,608,689



当期資金収支差額合計 ¥-5,097,912

○車いす松葉杖貸出(318件)

ボランティアセンター事業

- ボランティア相談・登録・幹旋
- ・登録数(105団体(2,695人)・個人92人)
- 新規登録2団体

福祉有償運送事業

- 利用者登録166名
- ・利用実績 2,817件

共同募金配分事業

- 福祉教育の推進
- ・車いす、アイマスク体験、総合的な学習への講師派遣
- 福祉推進校事業(市内全小中25校)



福祉フェスティバルでの要約筆記体験

- 第28回福祉フェスティバル
- ボランティアハウスのつごい(369名参加)
- 母子父子福祉事業への支援
- 障がい児福祉移送サービス利用支援事業の実施

福祉有償運送事業

- 利用者登録166名
- ・利用実績 2,817件

共同募金配分事業

- 福祉教育の推進
- ・車いす、アイマスク体験、総合的な学習への講師派遣
- 福祉推進校事業(市内全小中25校)

日常生活自立支援事業

- 継続契約25件・新規8件
- 生活支援員研修会の開催

生活福祉資金等貸付事業

- 新規貸付
- ・総合支援資金9件
- ・福祉資金71件
- (うち緊急小口資金68件)
- ・離職者支援資金2件
- 相談件数535件

**高齢者生きがいセンター
川島園デイサービス事業**

- ・開設日数139日
- ・延べ1,267名利用

地域包括支援センター事業

- 地域包括支援センターだよりの発行
- 地域包括ケア会議の開催

- (3回)
- つながり交流会の開催
- (6回)



ネットワークと顔のみえる関係づくり

総合相談支援

- (相談件数453件)
- 介護予防プランの作成
- (2,201件)
- 介護予防教室など
- 地域での出前講座(71件)
- ボランティアハウス
- 等への健康指導(111件)

介護保険事業等

- 居宅介護支援事業
- ・ケアプラン作成1,919件
- ・介護認定調査419件
- ホームヘルプ事業
- 延べ1,302名
- ・高齢者生活援助活動員
- 派遣事業 延べ368時間
- ・まごころサービスの提供
- (制度外サービス)
- 延べ293名

訪問入浴介護事業

- 延べ613回
- 老人デイサービス事業
- 一日利用平均15.4名
- ・秋祭の開催

障がい児・者へのサービス

- ホームヘルプ事業
- 延べ605名
- 訪問入浴介護事業
- 延べ529回
- デイサービス事業
- 延べ152名

助けられ上手に

なれますか

先日、市内約280の近隣ケアグループ代表者が集い、研修会があすかホールで開催されました。住民生活福祉総合研究所を主宰する木原孝久氏を講師に「近隣における見守り活動の重要性について」と題した講演が行われました。支えあふ基本は『近所力』を強めること、と多くの事例をあげられながら話をされました。助けてほしいと言われる方がいれば、手を差し伸べ



『近所力』を見直そう

会場の方とコミュニケーションをとりながら楽しい講演となりました



る方は8割もいるが、実際自分が「ヘルプ」と声をあげられるか、と言われると出来ない方が大半である事実を指摘され、困ったときに周りへ助けを求めることができる『助けられトキ』になることが重要と話されました。そうすれば、近隣ケアグループの助け合いの活動がより生かされること、また、先生が地域での『世話焼きさん』と言われる、近所力で困りごとを見つけ実際手助けしている方をバックアップすることが、グループの活動の一つですと話されました。

お母さんでフツキング教室

- 日時 8月27日(金) 午前10時～午後1時
- 会場 総合福祉会館 3階料理室
- 対象 一人暮らしの高齢者・高齢者夫婦の方
- 参加費 500円(材料費)
- 定員 25名
- 協力 市食生活改善協議会
- 申込み 8月20日(金)までに電話でお申込みください。

社会福祉協議会 総務課
☎058-3883-7610

障がい児(者)卓球教室

- 仲間作りや体力づくりを目的に開催します。運営ボランティアも募集します。
- 日時 11月4日(木)、11日(木)、18日(木)、24日(水)、12月2日(木)
- 各回とも午後1時30分～3時30分

- 講師 各務原市卓球協会
- 対象 市内在住または在勤で身体障がい者手帳または療育手帳をお持ちの方(視覚障がいの方は除く)
- 定員 10名
- 会場 各務原市総合体育館
- 参加費 無料
- 申込み 8月20日(金)までに電話またはFAXでお申込みください。

社会福祉協議会 総務課
☎058-3883-7610
☎058-3883-3233

お知らせ

第29回福祉フェスティバル

市民による福祉の祭典です。
お誘い合わせのうえご来場ください。

- 日時 9月12日(日)
午前9時～午後3時
- 会場 市民会館周辺
- 内容 バザーや各種団体による
イベント、アトラクションなど



しっかりと聞くことができました

社協那加一支部(牧田憲支
部長)で、那加第一小学校(村
井俊之校長)の4年生を対象



支部だより
5
支部だより
那加一支部

社会福祉協議会
職員募集

に車いす体験学習会を行いました。
まず車いす生活をしている
溝口輝彦さんからお話を伺い
ました。溝口さんは、うまく
声が出せませんが、キーボ
ードを押すと押した文字が音声
になる「トーキングエイド」
という機械を使ってお話をし
てくださいました。普段の生
活の中で困ったことや、手伝
ってもらおうとうれしいことな
どを聞き、どんなことができ
るかを考えました。
また、子どもたちは、支部
役員の皆さんから車いすの使



大丈夫かなと不安そう

い方を教えていただき、2人
一組になって押す側、乗る
側の両方を体験しました。少
しの段差でもなかなか越えら
れないこと、車輪が沈むマット
の上では思うように押せない
ことなどを勉強しました。

- ① ケアマネジャー
資格要件 介護支援専門員
勤務日時 月～金曜日
8:30～17:15
- ② ホームヘルパー
雇用形態 パート職員
資格要件 介護福祉士又はホ
ムヘルパー2級
普通自動車免許
勤務日時 週に3日程度以上
- ③ 日常生活自立支援事業支援員
雇用形態 パート職員
資格要件 普通自動車免許
勤務日時 支援(訪問)の都度



私たちと一緒に働きませんか。
(老人デイこぶしにて)

- ④ 地域包括支援センター担当職員
雇用形態 常勤
資格要件 主任ケアマネジャー
普通自動車免許
勤務日時 月～金曜日
- 問合せ・詳細
社会福祉協議会 総務課
電話 058(383)7610

ボランティア募集

- 内容 利用者の付添いや屋台(水
風船、飲食類など)手伝い
- 日時 8月21日(土)
午後3時半～午後8時半
- 場所 特別養護老人ホーム飛鳥
美谷苑(那加西市市場町)
- 持ち物 上靴、エプロン
- 問合せ 飛鳥美谷苑へ直接
058-380-3102
担当(小林・多田)

- 内容 知的障がい児のキャン
プの手伝いと交流
- 日時 8月20日(金) 午前9時
～21日(土) 午後3時
- 場所 各務原市自然の家
- 募集人員 高校生以上若干名
(宿泊できる方を優先します)
- 申込先 各務原市手をつなぐ育成会
0384-833-13 (大谷)
0371-85508 (水野)

四十も半ばを過ぎ、自分の
老後も考えるようになって、
ふと亡き祖母がよく話してい
た言葉「順送り」を思い出し
ます。人には親切に接しな
さい、どんなことでもつながら
いつか自分にもまわってくる、
祖母流の言い方ですが本当に
そのとおりだなあと感じます。
大好きだった祖母のようには
なれないけれど、自分らしい
順送りのできたらいいなあと
思います。皆さんの思い出の
言葉はなんですか。ちよっと
立ち止まってその言葉、そし
てその人の顔を思い出すのも
よいものです。
(松浦 知恵)

善意のご寄付をいただき
誠にありがとうございました

(敬称略・順不同 平成22年3月15日～6月15日)

金 銭	
・アピタ各務原店	28,716円
・ユーホーム各務原店	18,596円
・ピアゴ各務原店	18,056円
・岐阜信用金庫	50,000円
・宇野 巳代治	5,447円
・かがみがはらパッチワーク・ キルト展運営委員会	50,000円
・前田 五十子	15,066円
・波多野 耕三	9,000円
・鵜沼地区歌謡教室チャリティ 合同発表会実行委員会	55,663円
・匿名1件	
・グリーンフェア参加者一同	

物 品	
・株式会社 敬愛 (お菓子)	
・株式会社 ナイスワーク (衛生資材)	
・イトーヨーカ堂 各務原店 (日用品)	